

地域を  
変える  
チカラに

# 地域おこし 協力隊 活動報告



納見 直さん

やっと夏が終わったと思ったら、あっという間に寒くなりました。着任してから7ヶ月が経ち、食品加工にまつわることを思いつくままバタバタとやってきました。

9月に大きい燻製機を近くの方に貸していただき、タケノコや豆類を試作してきました。なかなか納得できるもの作れませんが、試行錯誤を繰り返し、やっとほばいいと思えるそら豆の燻製ができたので今後は具体的に加工行程を見直したり包装の方法を考えていく予定です。タケノコの加工は燻製も含め、なかなかうまくいきませんが失敗は発見だと自分を励ましつつ、もう少し工夫して試作していこうと思っています。

加工で使える作物も作ってみようと思い、秋から3aの土地を開墾し始めました。草を払いクワを入れて根を取り、畝を作って種を蒔く。この広さの畑を作ったのは初めてだったのでこの作業はとてもいい経験になりました。カラシナとそら豆を育てています。

畑までの道で地域の人お会いできたり、行事に参加したり、近くにそら豆栽培の先生もできたりと、新しい方々との出会いがゆっくり広がっていくのもとても嬉しい日常の一つです。

今年は新しいアイデアを試しながら、いろいろなことを具体化していこうと思っています。

## 地域おこし協力隊 李京和の韓国文化講座 설날(ソルラル・お正月)と떡국(トック・雑煮)



설날 (ソルラル) は日本のお正月のような韓国の正月です。年の始まりである旧暦1月1日を指す言葉で、今年は1月25日です。お正月の朝には家族が集まって先祖に祭祀を行った後、代表的な食べ物である떡국 (トック・雑煮) を食べます。韓国ではお正月のトックを食べ、初めて歳を一つ取るといわれます。トックの餅は米粉で作って長く取った餅を乾燥させて薄切りにし、肉や牡蠣を入れたスープに入れて煮て、織切りの薄焼き卵と海苔粉を飾られて食べます。



## 国際交流員 ソディアの海外文化紹介コーナー 1月 文化紹介



アメリカの結婚式では、「Bridesmaid (ブライズメイド)」という役割があります。Bridesmaid は花嫁が選んだ一番親しい女友達や姉妹がします。大体5人が基本ですが、10人以上選ぶ花嫁もいます。Bridesmaid たちは結婚式の時に、全員同じドレスを着て花嫁の隣に立ちます。花嫁の隣にも「Groomsman (グルームズマン)」という全員同じスーツを着た男友達や兄弟が立ちます。この習慣は何百年の歴史があるそうです!

